分散会１

オリエンテーションルーム

司会者：仲村　康子
記録者：今永　康生
会場責任者：宇都宮　晋

北海道占冠村教育委員会　　藤本　武

占冠中央小学校コミュニティ・スクールの取組について

「地域で見守る子どもの成長」～占冠の子どもたちのために～

占冠学校支援地域本部が土台となり、平成26年5月に占冠中央小学校がＣＳとなりました。平成28年度からは、村内3校がＣＳと指定されました。現在、学校地域支援本部を中心にしながら、地域学校協働本部へ向けた会議が占冠中央小学校で実施されるようになり、学校教育はもちろん、公民館主催の土曜学習の充実が図られてきています。また、北海道大学をはじめとする協力大学との連携や村内との学校間でテレビ会議システムによる遠隔授業の取組が開始されています。

今後は、このような取組を進めながら義務教育学校や小中一貫を推進し占冠学園構想の実現へ向けた準備をしていきます。

広島県尾道市　NPOおのみち寺子屋　　加良　莉夏　　金尾　百恵

第１４回人間力育成塾

小学 4 年生から 6 年生までの 100 名が 4 泊 5 日を掛けて尾道市内 100km を歩き抜く事業（＝おの 100 挑戦隊～感動創造の旅～）がメインとなる活動です。小学生から社会人まで自分の身の丈に合った「挑戦」と「成長」の機会を提供するために、事業としての軸を大切にし続けながら、その中で個人が進化し続けられる環境を創っています。

参加小学生→ボランティア研修生→高校生スタッフ→学生スタッフ→実行スタッフといった循環が出来上がり、また、地域おこし→銀の道整備（石見銀山街道）→本番ルートというかたちで、地域との協働も出来てきました。

プロジェクト地球っ子ひろば（愛媛県新居浜市）　　射手　建雄

子どもと親の自然体験ファーム

プロジェクト地球っ子ひろばは、新居浜市大生院の耕作放棄地を復活させた畑と森で、出会う生きものたちと直接楽しく触れ合い、自然に親しみ、自然を知り、自然を大切にする心を育む機会を親と子どもたちに提供しているボランティア団体です。自然を直接体験するゲームを取り入れたプログラムを設定し、参加者が共に苦労しながら楽しく農作業や農産物の加工作業を体験するよう工夫しています。また、食物栽培から調理まで、五感を使った農林作業体験活動から自己と自然との関わりに気付かせ、命あるものが共に自然の中で生きていくことの大切さを感じることができるようにしています。

分散会 2

２１ルーム

司会者：兵頭　智
記録者：森口　朝子
会場責任者：遠藤　敏朗

秋田県北秋田市生涯学習課　　松田　淳子

阿仁鉱山（やま）交流プロジェクト～愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部を迎えて～

秋田市には、かつて金、銀、銅が採掘され、1716 年には、産銅日本一となった阿仁（あに）鉱山があり、昭和 53 年に閉山するまで歴史を紡いできました。また、鉱山町として特有の文化も根ざしています。

地域をフィールドに、ふるさとを愛する子どもを育む総合学習のなかで、文化や観光、歴史を学ぶ阿仁合小学校 5・6 年生が、学んだ成果を発表するステージを校外に求め、4 年前から観光ボランティアガイドを始めました。さらに、今年 7 月、同じ鉱山のつながりから、「新居浜南高校ユネスコ部」との交流会が実現しました。全校児童 31 人の小さな小学校と愛媛県立新居浜南高校との鉱山（やま）交流に、「秋田大学海外鉱業研究会」のみなさんとのワークショップが加わり、北秋田市と新居浜市との夢の架け橋ともなるプロジェクトとなりました。何よりも、このプロジェクトのご縁は、昨年の第 8 回地域教育実践交流会であったのです。

静岡県牧之原市政策協働部地域創生課　　松井　工

地域と高校生との対話による学び合いの場コンファレンス

当市における「平成 28 年度地域リーダー育成プロジェクト」の事例を基に、県内高校（池新田・小笠・清流館・榛原・相良）、地域（御前崎市・菊川市・焼津市・牧之原市）の連携を図り、広域的な展開を目標としています。まず、各地域が抱える個別課題の解決に貢献する人材を育成するため、多彩な講師を招いてのファシリテーション研修を各高校で開催します。また、年明け 1 月にはフォーラムを開催し、事例研究の内容や当事業の成果を多様な人と共有するとともに、地域課題の解決や地域に愛着を持つ人材を育成するための対話型ワークショップを行い、高校との協働による地域リーダーの育成を目指します。

白井歌声喫茶グループ（愛媛県新居浜市）　　近田　浩

高齢者の生きがいと健全な子ども育成の創出

生涯大学でのミュージックセラピーの受講に合わせて、平成 23 年 2 月に発足しました。活動を重ねるたびに内容が充実し、楽しさが倍増となりました。活動内容は、歌声・健康学習・げんき体操・手遊び歌・踊り・笑いのヨガ・お手玉・折り紙他、いろいろあります。外部へは、施設・幼稚園・イベント等に参加しています。わたしたちは、この活動が高齢者の介護予防・引きこもり・孤立防止の歯止めや、子どもたちへの健全育成と地域の活性化につながればと思っています。

分散会 3

２２ルーム

司会者：清家　卓
記録者：上田　謙
会場責任者：大森　茂樹

福島県会津坂下町　　佐藤　房枝

「子どもがふみだす　ふくしま復興体験応援事業」「福島復興公民館大学」

東日本大震災後から 5 年が経ち、支援を受けている間は復興しているとはいえない、という声が聞かれています。「子どもがふみだす～」は県教育委員会の事業で、これまで支援を受ける一方だった子どもたちが、主体的に復興に寄与する社会体験活動に取り組むことを通して、新生ふくしまを担う子どもたちの育成を目的としています。

また「福島復興公民館大学」は、第二次大戦後の荒廃した日本と、震災と原発事故に打ちひしがれた福島県の状況を重ね合わせ、戦後『寺中構想』により日本中に設置された『公民館』の存在意義を今こそ再考しようと、県内外から有志が集い学び合っている学習会です。

岡山県岡山市立中央公民館　　重森　しおり

食のソムリエっ子講座

小学 2～3 年生を対象とした食育講座を公民館で実施しています。知識や技術だけを詰め込むのではなく、食に対して自ら正しい行動ができるようになることを目指し、毎月 1 回（全 8 回）実施しています。最終回には、炊飯し三角おにぎりが握れること。煮干しで出汁を取り、豆腐を手の上で切り、包丁で切った野菜を具材にした味噌汁を作れることと、ペーパー試験を実施し、ソムリエっ子に認定して子どもたちのやる気を伸ばす取り組みです。野菜ソムリエの方と学校栄養士、地域住民がサポートしてくれています。

久米ふれあい食堂（愛媛県松山市）　　梶川　智史　　家高　志歩

久米地区孤食対策事業

地域で増えている孤食に対して、久米地区では公民館で栄養バランスのとれた夕食を提供する食堂を開店しました。料金は、子どもは無料、18 歳以上は 100 円で、ほぼ毎週木曜日に実施しています。事業設計にあたり、始めるなら出来るだけ持続・継続できるように、調理手伝い・食材提供・寄付金等を地域に呼びかけました。すると、多くのボランティアや企業・大学から、応募がありスタートできました。現在も、独居老人・子ども・ボランティアの週 1 回のふれあいの場として日々成長しています。

分散会 4

２３ルーム

司会者：光沖　真治
記録者：橋本　尚子
会場責任者：小笠原　貴久

広島県教育委員会 豊かな心育成課　　大名　克英

「山・海・島」体験活動“ひろしま全県展開プロジェクト”

広島県では，平成 25 年度から，日常とは異なる環境での生活を体験し，児童の自立心や主体性などを育てるとともに，体験先の地域の方々や学校との交流を通して，コミュニケーション能力など人間関係を形成する力を育てることにより，児童の豊かな心を育成することを目的として，３泊４日長期集団宿泊活動が，全ての公立小学校で実施されるよう取り組んでいます。平成 28 年度は，全公立小学校の約 81%にあたる 371 校で実施される予定です。

また，このプロジェクトの更なる普及と充実を図るため，県教育委員会では，「手引」の作成や県立教育センター等と連携した教職員研修の実施，児童自らが体験活動で成長した姿を発信する実践発表会を開催しています。

読み語り隊（愛媛県伊予市）　　冨田　敏

子ども読み語り隊、出動します！

平成 16 年、読み聞かせボランティア募集への応募をきっかけに結成、週に１回、始業前に町内 3 つの小学校に訪問して、読み聞かせ活動を実施しています。平成 26 年からは町内の小学校に働きかけ「子ども読み語り隊」を組織、デイサービスや老人ホーム、保育所などに出動し、紙芝居、人形劇、合唱などを披露しています。平成 22 年から主催イベントをスタートさせるほか、市内のボランティアフェスティバル等に出演。平成 23 年よりオリジナル作品の制作に入り、イベント等で積極的に披露しています。

メニークエスト（愛媛県西予市）　　藤田　恭裕

地域の資源で外貨を稼ぎ、地域がやりたいことをやる

地域団体の特産品開発から合同会社を設立し、地域の特産である「栗、ゆず」を使ったコーラやフレーバーティーを開発しています。売り先やコンセプトを意識し、販路も商品に見合った場所を開拓して売り上げを伸ばすよう努めています。そこで得た売上金を地域の生産者に還元させる他、今後の商品開発の研究費用や、地域がやりたいことに資金投入し、補助金に頼らない地域運営を目指しています。廃校になった小学校の活かし方や、地域の人が継続的に取り組めることを、収支バランスと地域のキャパシティーを考えながら模索しているところです。

分散会 5

２４ルーム

司会者：川中　幸子
記録者：中井　佐衣子
会場責任者：鍵山　直人

群馬県前橋市生涯学習課　　阿久津　哲也

公民館における少年教室の果たす役割

学校ではない、公民館で社会とのかかわりを体験しながら学習し、子どもたち自身が自分で考えるようになります。これが”はじまり”です。これが”ねらい”です。
前橋市では、Mキッズをはじめ、市内公民館で少年教室を開催しています。　つどい・学び・つながる場所、「公民館」。　未来へ向けて、子どもたちの可能性は無限大です。今こそ公民館の出番です。
前橋市の公民館は、次の前橋（日本）を支える子どもたちを応援しています。

双海町こども教室(愛媛県伊予市)　　隅田　直軌

わくわく生活体験「夕焼け村」

今年で 17 回目を迎える通学合宿「夕焼け村」は、多くのボランティアスタッフの協力を得て開催しており、地域内の三つの小学校の 4～6 年生が 6 泊 7 日の日程で共同生活をする中で、青少年健全育成につなげることを目指しています。近年、児童数の減少により、1 学年 1 クラスという環境の中で固定化しがちな人間関係が課題となっており、また、小中学生の姿が見られない地区が少しずつ増加しています。夕焼け村には中高大学生や地元婦人会等の様々な年齢のスタッフが関わり、参加児童のみならず参加するスタッフも含めて、地域の人々の交流にもつながっています。

愛媛おやじ会井戸端会議(愛媛県)　　畝崎　優和

伊台おやじの会、第 13 回全国おやじサミット in 愛媛

そもそも恥ずかしがり屋が多い「おやじ」は、だいたい同年代の地元「おやじ」どもから頭を下げられ、ビールの香りを嗅がされると、なんとなく付いて行って、なにげに一生懸命にご奉仕してしまうという悲しい習性があります。その習性をうまく利用し、地域行事や学校行事なんかのお手伝いをしたり、地域と学校の潤滑油になったり、新たに引っ越してきた家族と仲良しになるお手伝いをしたりと、「おやじの会活動」を積み重ねてきました。ちっちゃい懇親会も普通の懇親会もこれまでどおりやってきましたが、2015 年には、でっかい懇親会「第 13 回全国おやじサミット in 愛媛」をやってしまいました。それは、2013 年、仙台での全国おやじサミットで、「愛媛で全国大会やるぞ！！」と言っちゃったことから始まりました。言っちゃった限りはやらにゃいかんかったんです。

分散会 6

視聴覚室

司会者：石丸　寛人
記録者：高田　容弘
会場責任者：本田　精志

島根県益田市教育委員会　　大畑　伸幸

小学校を新たな子育てとコミュニティの拠点に！

平成 27 年 12 月の中央教育審議会答申で示された「地域学校協働本部」構想を先取りし、益田市では、中山間地域にある益田市立豊川小学校を新たな地域の拠点として位置付け、様々な取り組みを加速化しています。「職員室への社会教育コーディネーターの配置」、「放課後、休日、長期休業中の学校での子どもの各種活動実施による子育て支援施設化」、「中高生の地域活動グループの活動拠点化」、「学校での社会教育活動実施による公民館化」など、耐震化の完了した小学校での様々な活動を実施中。
「学校」を「学校教育」以外で活用を進め、公民館を学校の中に取り込むことで、行政課題である公共施設削減も併せて目指しています。

石井北小学校おやじの会（愛媛県松山市）　　阿部　洋士

ランドセルは海を越えて

石井北おやじの会では、2011 年から卒業生のランドセルをアフガニスタンに送る活動に取り組んでいます。ランドセルの募集には、卒業生や保護者に向けて、「石井北小学校から贈られたランドセルで勉強をした外国の子どもたちが、大人になった時にみなさんとめぐり会う機会があるかもしれません。その時には、ぜひ小学校時代の思い出を話してみてください。」と呼びかけています。
今年の活動でも学校や PTA などと協力して 42 個のランドセルが集まり、おやじたちが、仕事を終えた夜に学校に集まって箱詰め作業を行いました。

松山市立雄郡小学校(愛媛県松山市)　　吉見　香奈子　　梅木　謙一　　向井　京子

地域人財をつなぐキャリア教育

愛媛は、県歌にも謳われるように、自然に恵まれ海陸の道を「ことば」文化をはじめとする豊かさが行き交う地であります。しかし、そこにある価値や支える人々の存在は気付かれにくい。目まぐるしく価値観が変動する現代、子どもが、自分自身や育った背景である故郷に、愛着・誇りなどアイデンティティの基盤をもつことは、世界を生活の舞台とする世代にとって大切なことだと思います。そこで、６年生の総合的な学習の時間を主軸に、地域財産として誇れる活躍の「人財」と接し、face to face で仕事とは何かを語り探ることを通して、各々が自己を見つめ、目標をもち、自信をもって伸びようとする活動を構成しました。

分散会 7

３０ルーム

司会者：酒井　康秀
記録者：宇都宮　健太
会場責任者：中尾　治司

島根県益田市教育委員会　　谷上　元織

地方創生をめざした、『ライフキャリア』を基盤とした未来の担い手育成！

「ワークキャリア教育」から「ライフキャリア教育」へ！「仕事探し」に偏っていたこれまでのキャリア教育では、「地方都市」は「東京」にはかないません。しかし、「いかに生きるか」というライフキャリアの視点でキャリア教育を見直すと、今、地方都市でいきいきと生きる人がたくさんいることに気づかされます。益田市は、平成 27 年度、「益田市未来を担うひとづくり計画」を策定し、今、益田市でいきいきと生きる「益田人（ますだびと）100」を認定し、保～高までに、意図的、計画的に出会わせる、新しいキャリア教育に着手しています。その結果、子どもに関わる大人が変わり、新たなひとづくりの環が生まれてきています。これが、教育＆子育ての魅力化につながり、「教育による移住」が生まれると考えています。

伊予の伝承文化を学び伝えるリーダー村（愛媛県）　　池田　悠人　岡本　紋佳

伊予の伝承文化を学び伝えるリーダー村

現在、地域を大切にし、地域に根ざして活動するリーダーが求められています。愛媛の伝承文化を学び、先人の知恵と自然体験の融合した体験活動をし、地域を大切にしようとする心を育むとともに、「子どもむかし生活体験村」を自ら計画し、運営することで、地域に根ざして活動しようとするリーダーを養成しています。今年度 10 回目の事業を実施しました。県内の大学生が日本の伝承文化を理解し、それを継承していこうとする意識をもち、実際にリーダーとして小学生向けにプログラム作成から実施までを行っています。大学生が育ち、小学生も体験を通して伊予の伝承文化を学べる事業です。

上島町教育委員会生涯学習課（愛媛県上島町）　　中西　智恵

離島体験事業～こどもミニ島体験キャンプ in かみじま～

この事業は、自然の中での活動を通して、子どもの体験を重視し、子どもの「育ち」を支援すること、また、町内外の子どもの交流を図り、島の良さを知ってもらうことで、将来の離島振興に生かそうと実施しています。このキャンプを始めて、今年で 10 年が経過しました。毎年夏休み、子どもたちは島の自然を体験し、自分たちで食材を獲り、食事作りをし、一回りたくましくなって帰っていきます。地域資源を活用し、子どもの体験、出会いを大切に考え、これまで取り組んできた内容を報告したいと思います。

分散会 8

３１ルーム

司会者：中山　佑司
記録者：松本　宏
会場責任者：中尾　茂樹

島根県益田市教育委員会　　澤江　　健

益田市版「放課後総合プラン」で教育・子育ての魅力化と移住推進！

小学生の学校で過ごす時間と「放課後＋休日＋長期休業」の合計時間を比較すると、後者の方が長くなります。しかも、「共働き」の増加により、放課後児童クラブに参加する子どもたちの数は増え続けています。益田市では、学校での時間以上に長い「放課後等」の時間を『子どもの育ち』の視点で見直すことにしました。これが、「益田版放課後総合プラン＆アクションプラン」の策定です。そして、放課後児童クラブの学校での開設促進、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化、放課後児童クラブでの子どもの育ちを支えるプログラムの実施を柱としたアクションプランを 3 年間、加速度的に進めることにしました。

この実現に向け、福祉部局と教育部局の協働、地域ぐるみで子どもの育つを支える「つろうて子育て協議会」との協働をしっかりと進めているところです。

徳島県那賀川町青年会　　西岡　賦文

那賀川町青年会の復活

長らく活動休止状態だった那賀川町青年会が息を吹き返し、あらためて地域の中で活動を再開してから 10 年近くになります。正会員は 10 名ですが、年間数回実施している事業に参加する人たちは延べ 300 名以上になります。そして事業の主役は地域の子どもたちです。地域の子育て施設を活動拠点にして、子どもたちとのお祭りや、もちつき大会等を実施しています。

子どもたちとの事業を紹介しながら、子どもの育成に青年団ができることや意義をご報告します。

惣開公民館（愛媛県新居浜市）　　明日　博美

地域と学校が共に連携しＥＳＤ活動を通して地域力を高め持続可能な共生社会を創造する

地域と学校が共に連携し、相乗的に教育効果が波及するＥＳＤ活動を行っています。その為、地域の様々な人、空間や時間、場所、地域文化、多様なステークホルダーを繋ぎながら、主な活動としては、具体的に①惣開校区総合防災訓練②夕涼み会③夏休みプリンス＆プリンセス講座④そうびらき未来への鉱脈＆観月会⑤地域ふれあいウォーク⑥文化祭＆惣開小音楽会⑦七草粥⑧三世代交流もちつき大会＆独居老人宅訪問などを実践しています。「地域を元気に、笑顔いっぱいの地域、愛のあるそうびらきにしよう！」という共通の願いや思いで取り組んでいます。